

無収縮モルタル リフレグラウトAD

水道施設の技術的基準を定める省令(平成12年2月23日厚生省令第15)
による浸出試験(JWWA Z 108:2004 7.1.2 表層用材料
溶剤を含まない製品)適合品

リフレグラウトADとは

リフレグラウトADとは、上水道施設におけるコンクリート躯体の断面修復時の型枠注入用に開発した特殊セメント系グラウト材です。

リフレグラウトADの特長

- 平成12年厚生省令第15号浸出試験、厚生労働省第5号及び厚生労働省告示第14号による浸出試験(JWWA Z 108:2004, 水道用資機材-浸出試験方法)に適合しています。
- 安定した強度発現性を確保しています。
- 型枠への流し込みに最適な流動性を保持しつつ、材料分離やブリーディングを生じません。
- 付着性が高く、コンクリート躯体との一体回復が可能です。

断面修復工の施工環境管理

- 施工時及び養生時の気温が5~40℃で、結露しない環境下にて施工を行ってください。
- 施工後、急激な乾燥・強風・降雨・直射日光を受けないようシート養生等願います。
- 5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げてください。
- 氷点下の気温が予想される場合は施工を中止してください
- 酷暑時には、練り上がり温度が概ね30℃以下になるよう、練り水に冷水を用いる等の対策を講じてください。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。



荷姿：
25kg紙袋入り

※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

標準配合

配合	水/材料比 (%)	配合量 (kg)		練り上がり量 (ℓ)
		リフレグラウトAD	水	
1袋	14.5%	25 kg (1袋)	3.6 kg	約12.7 ℓ
1m ³		1975 kg (79袋)	287 kg	約1000 ℓ

※目標とするコンシステンシー：J14ルート流下時間 8±2秒

※気温等により水量は変化しますので、必ず試し練りを行い、水量を決定してください。

※水量調整の目安 (3.4kg~3.9kg/袋)

物性値の一例

項目	材齢	試験値	試験方法
凝結時間	20℃	始発 5:20 終結 7:20	JIS R 5201
ブリーディング率 (%)	5℃ 20℃ 35℃	2時間後 および 最終 0.0 0.0 0.0	JSCE-F 522
膨張収縮 (%)	20℃	1日 3日 7日 +0.07 +0.07 +0.07	
圧縮強度 (N/mm ²)	5℃	3日 7日 28日 18.6 32.5 48.9	JSCE-G 522
	20℃	3日 7日 28日 28.2 42.6 52.4	
	30℃	3日 7日 28日 35.6 49.6 58.3	
付着強度 (N/mm ²)	20℃	28日 2.1	建研式簡易引張試験装置
静弾性係数 (kN/mm ²)	20℃	28日 29.5	JIS A 1149

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

施工方法

前準備

- ▶ 混練水：酸、油、有機不純物を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサー、グラウトミキサー等の高速回転型をご用意ください。手練りによる混練は出来ませんのでご注意ください。
アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。
- ▶ その他：必要に応じ、グラウトポンプ、計量器、バケツ、コテ等をご用意ください。アルミ製の容器は絶対に使用しないでください。

下地処理

- ▶ 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油分等を除去してください。必要に応じてチッピング処理等をお願いします。下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態を保ちます。水洗いが不可能な場合は下地はエアブロー等で良く清掃し、プライマー処理等*を行ってください。

※弊社製品「リフレトリート」をお勧めします。

材料の混練

- ▶ 配合表を目安にハンドミキサーを用い3分以上混練します。施工規模に応じてグラウトミキサーをご用意ください。

※外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使用時間、施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で混練水量を調整します。

※練り上がった材料は30～45分以内に使い切ってください。

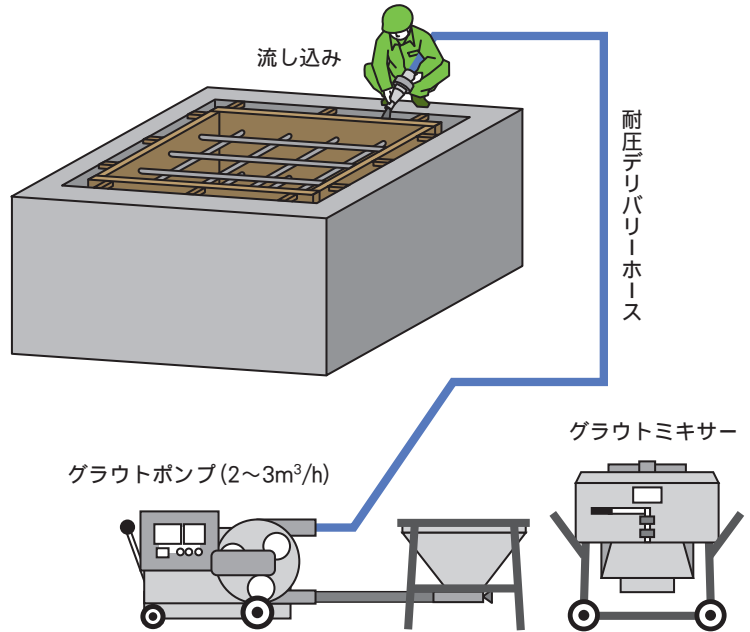
施工

- ▶ 注入：注入条件によって自重圧、ポンプ注入等を選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行います。また、バイブレーター等による振動締め固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ、金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：露出面を濡れた布等で被い、2～3日間は湿潤状態を保って初期の乾燥を防いでください。寒中施工では保温養生等により初期凍害を防止してください。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにしてください。
- ▶ 積み置き：屋内保管を原則とし、降雨、湿気等かなるべく遮断してください。

大規模工事における使用機材の一例



浸出試験の証明書



物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- 東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
- 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
- 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
- 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
- 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
- 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
- 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
- 広島支店 〒732-0827 広島市南区稻荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
- 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

- 電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
- 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
- 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
- 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
- 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
- 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
- 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
- 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
- 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は